

TOSHIBA

Generalist

人財管理ソリューション

V6 帳票管理ファイル 削除手順

NM-GEN16421-02

も く じ

第 1 章	帳票管理ファイルの削除.....	1
1.1	概要.....	1
1.2	対象.....	1
1.3	削除方法.....	1

第1章 帳票管理ファイルの削除

1.1 概要

V06.12R00 より、帳票管理(機能)より該当帳票を削除した場合にアプリケーションサーバにある帳票管理フォルダ/ファイルの削除が行えません。

帳票管理(機能)より該当帳票を削除した場合には、本手順に沿って、アプリケーションサーバにある帳票管理フォルダ/ファイルの削除を行ってください。

1.2 対象

本手順の対象は、以下のすべての条件に該当する場合、必要となります。

- ① **Generalist/HRPR** を利用している
- ② V06.12R00 以降のバージョンを利用している
- ③ 帳票管理(機能)で Ver が「2」以上になっている帳票を削除する

1.3 削除方法

下記の手順に従ってアプリケーションサーバにある帳票管理フォルダ/ファイルの削除を行ってください。



<重要>

- 本手順の帳票管理フォルダやファイルの削除は、帳票管理(機能)より該当帳票を選択し、削除を行った後に実施してください。
メニュー:「システム管理」→「画面・帳票 設定」→「帳票管理」
- 該当フォルダやファイルを削除/編集する際には削除前/編集前に必ずバックアップを取るように行ってください。

1.3.1 アプリケーションサーバの停止

以下の手順で、アプリケーションサーバのサービスを停止します。

Oracle WebLogic Server 12c の場合

Oracle WebLogic Server 管理コンソールの起動

- ① Web ブラウザを起動し、アドレスに「http://**geneias**:7001/console」と入力します。
- ② Oracle WebLogic Server 管理コンソールのユーザ名とパスワード入力画面が表示されます。ユーザ名とパスワードを入力し、『OK』ボタンをクリックします。
〈ユーザ名〉 : Oracle WebLogic Server の管理者のユーザ名
〈パスワード〉 : Oracle WebLogic Server の管理者のパスワード
- ③ 管理コンソールが起動されます。ドメイン構造から『サーバー』をクリックし、サーバーのサマリー画面で『制御』タブをクリックします。
- ④ アプリケーションサーバの一覧が表示されます。一覧から『**Generalist**』のチェックボックスをクリックし、『停止』ボタンをクリックします。
- ⑤ 状態に『SHUTDOWN』が表示されればサーバーの停止は完了です。
- ⑥ Web ブラウザを終了します。

WebCube Application Server の場合

WebCube Application Server 管理コンソールの起動

- ① Web ブラウザを起動し、アドレスに「http://**geneias**:28080/mngsvr/」と入力します。
- ② WebCube Management Server のユーザ名とパスワード入力画面が表示されます。ユーザ名とパスワードを入力し、『OK』ボタンをクリックします。
〈ユーザ名〉 : WebCube Management Server の管理者のユーザ名
〈パスワード〉 : WebCube Management Server の管理者のパスワード
- ③ 管理コンソールが起動されます。運用管理ポータル画面から『論理サーバのアプリケーション管理』を選択します。
- ④ J2EE サーバ『アプリケーション』を選択します。
- ⑤ J2EE アプリケーションの開始/停止画面にインポート J2EE アプリケーション一覧が表示されます。停止するアプリケーションの『停止』をクリックします。
- ⑥ 確認画面で『はい』ボタンをクリックします。なお、停止までに時間がかかる場合があります。実行結果が『成功』が表示されたらタブの『削除』をクリックしてください。
- ⑦ 削除画面にインポート J2EE アプリケーション一覧が表示されます。削除するアプリケーションの『削除』をクリックします。
- ⑧ 運用管理ポータル画面から『論理サーバの起動/停止』をクリックします。
- ⑨ サーバビューから『<運用管理ドメイン名※>』をクリックします。
※運用管理ドメインのデフォルト名は DefaultDomain です。
- ⑩ 『一括停止』をクリックし、『実行』ボタンをクリックします。

Web ブラウザを終了します。

1.3.2 アプリケーションサーバ 帳票管理フォルダ／ファイルの削除

帳票管理(機能)より削除した該当帳票のフォルダおよびファイルをアプリケーションサーバより削除します。



<重要>

- ・ 該当フォルダやファイルを削除する際には削除前に必ずバックアップを取るようになっています。

削除対象となるフォルダ／ファイルは下記になります。

- ① <Generalist インストールフォルダ>¥WEB-INF¥webdav¥store¥content¥reports¥reportdef¥<u>該当帳票フォルダ</u>
- ② <Generalist インストールフォルダ>¥WEB-INF¥webdav¥store¥metadata¥reports¥reportdef¥<u>該当帳票フォルダ</u>
- ③ <Generalist インストールフォルダ>¥WEB-INF¥webdav¥store¥metadata¥reports¥reportdef¥<u>該当帳票ファイル</u>

<u>該当帳票フォルダ</u> は、「(帳票管理(機能)より削除した帳票 ID)(帳票管理(機能)より削除した帳票の法人コード)(帳票管理(機能)より削除した Ver)」になります。

<u>該当帳票ファイル</u> は、「(帳票管理(機能)より削除した帳票 ID)(帳票管理(機能)より削除した帳票の法人コード)(帳票管理(機能)より削除した Ver).def.xml」になります。

<Generalist インストールフォルダ> は、インストールマニュアルの初期値どおりインストールした場合、以下ようになります。



Oracle WebLogic Server 12c の場合

C:¥oracle¥wls12c¥webapps¥Generalist¥Generalist.war



WebCube Application Server の場合

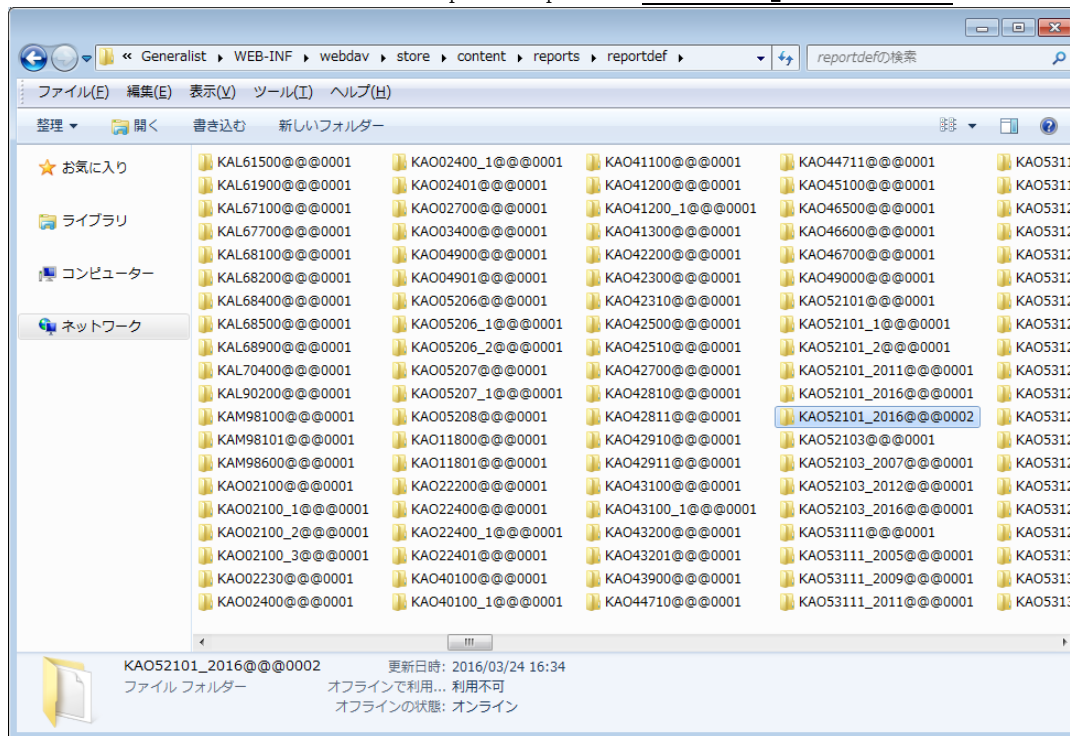
C:¥Program Files¥TOSHIBA¥WebCube¥CC¥web¥containers¥geneias¥webapps¥Generalist¥Generalist

(例)「帳票 ID」が KAO52101_2016、「法人コード」が@@@、「Ver」が 2 の帳票を帳票管理(機能)より削除した場合、以下のフォルダ/ファイルを削除してください。

(画面イメージは WebCube Application Serve を利用した場合になります。)

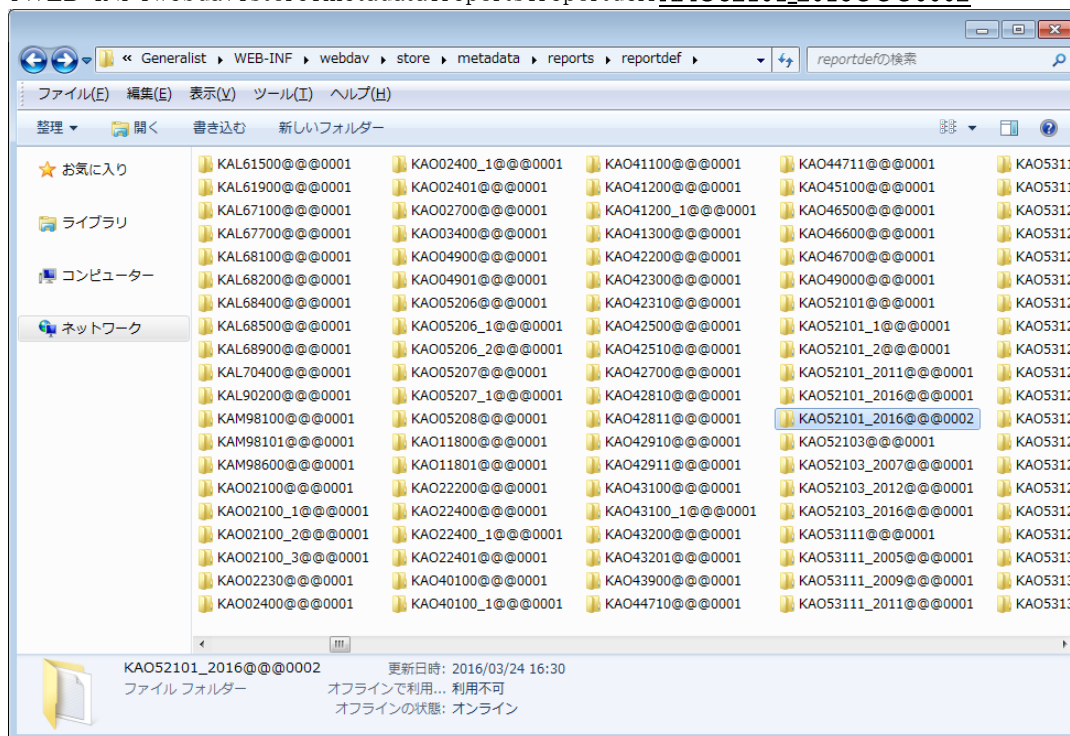
① <Generalist インストールフォルダ>

¥WEB-INF¥webdav¥store¥content¥reports¥reportdef¥KAO52101_2016@@@0002



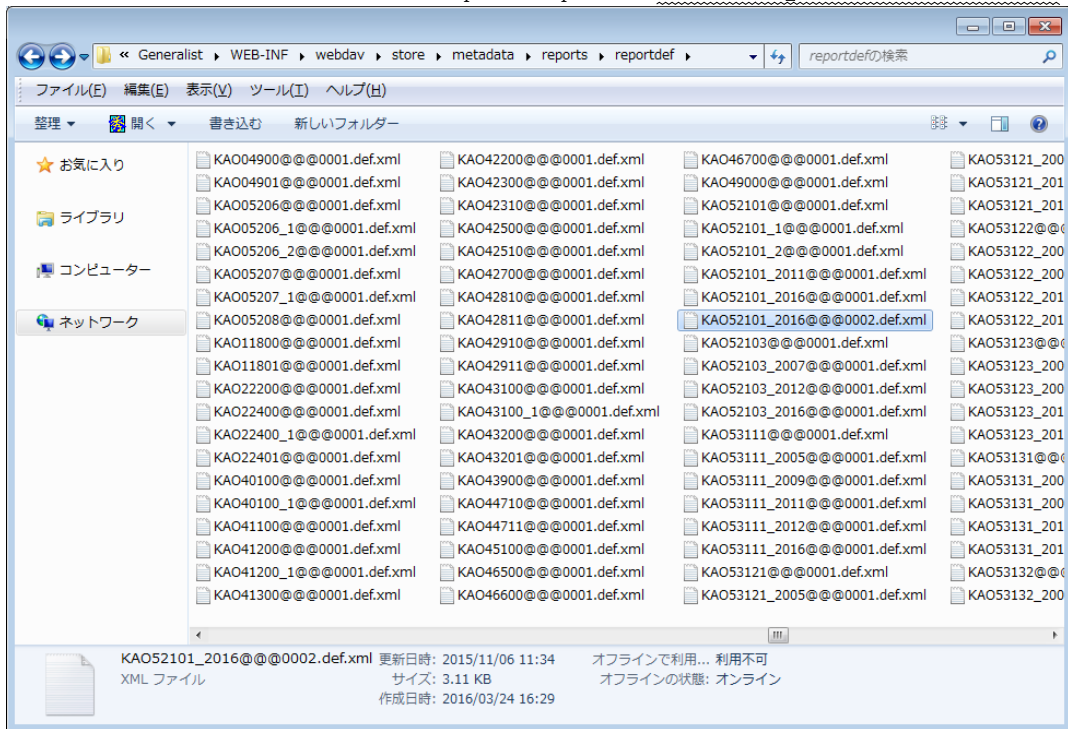
② <Generalist インストールフォルダ>

¥WEB-INF¥webdav¥store¥metadata¥reports¥reportdef¥KAO52101_2016@@@0002



③ <Generalist インストールフォルダ>

¥WEB-INF¥webdav¥store¥metadata¥reports¥reportdef¥KAO52101_2016@@@0002.def.xml



1.3.3 reportdef.def.xmlファイルの編集



<重要>

- reportdef.def.xml ファイルを編集する際には編集前に必ずバックアップを取るようによしてください。

<Generalist インストールフォルダ>

¥WEB-INF¥webdav¥store¥metadata¥reports¥reportdef.def.xml ファイルをテキストエディタ等で開き、帳票管理(機能)より削除した該当帳票の行を削除します。

削除対象となる行は下記になります。

```
<child name="<該当帳票>" uuri="/reports/reportdef/<該当帳票>" />
```

<該当帳票> は、「(帳票管理(機能)より削除した帳票 ID)(帳票管理(機能)より削除した帳票の法人コード)(帳票管理(機能)より削除した Ver)」になります。

<Generalist インストールフォルダ> は、インストールマニュアルの初期値どおりインストールした場合、以下のようになります。

Oracle WebLogic Server 12c の場合

```
C:¥oracle¥wls12c¥webapps¥Generalist¥Generalist.war
```

WebCube Application Server の場合

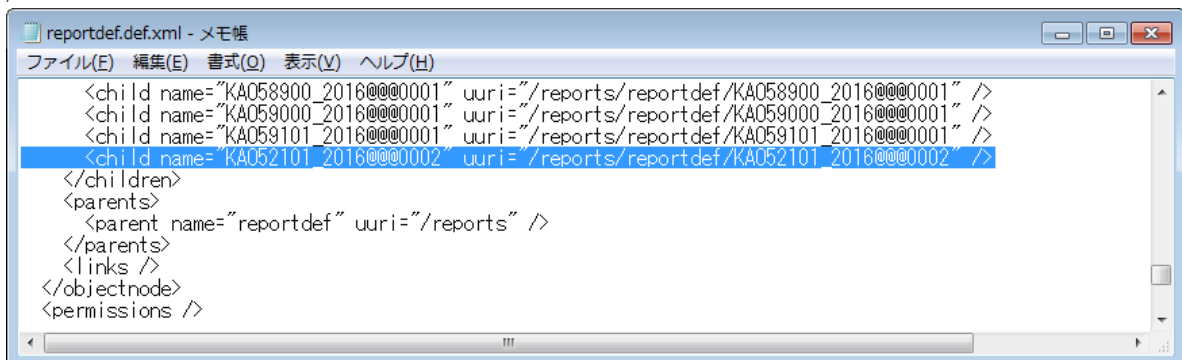
```
C:¥Program Files¥TOSHIBA¥WebCube¥CC¥web¥containers¥geneias¥webapps¥Generalist¥Generalist
```

(例)

「帳票ID」がKAO52101_2016、「法人コード」が@@@、「Ver」が2の帳票を帳票管理(機能)より削除した場合、以下の該当行を削除してください。

```
<child name="KAO52101_2016@@@0002" uuri="/reports/reportdef/KAO52101_2016@@@0002" />
```

```
/>
```



1.3.4 アプリケーションサーバの起動

アプリケーションサーバを起動してください。

Oracle WebLogic Server 12c の場合

Oracle WebLogic Server 管理コンソールの起動

- ① Web ブラウザを起動し、アドレスに「<http://geneias:7001/console>」と入力します。
- ② Oracle WebLogic Server 管理コンソールのユーザ名とパスワード入力画面が表示されます。ユーザ名とパスワードを入力し、『OK』ボタンをクリックします。
〈ユーザ名〉 : Oracle WebLogic Server の管理者のユーザ名
〈パスワード〉 : Oracle WebLogic Server の管理者のパスワード
- ③ 管理コンソールが起動されます。ドメイン構造から『デプロイメント』をクリックし、デプロイメントのサマリー画面にデプロイメントの一覧が表示されます。一覧から『**Generalist**』のチェックボックスをクリックし、『更新』ボタンをクリックします。
- ④ アプリケーションの更新アシスタント画面で『終了』をクリックします。なお、更新に時間がかかる場合があります。実行結果がデプロイメントのサマリー画面で『選択したデプロイメントが更新されました。』が表示されたら更新とキャッシュの削除が完了です。（※この操作でキャッシュが自動的に削除されます）
- ⑤ ドメイン構造から『サーバー』をクリックし、サーバーのサマリー画面で『制御』タブをクリックします。
- ⑥ アプリケーションサーバの一覧が表示されます。一覧から『**Generalist**』のチェックボックスをクリックし、『起動』ボタンをクリックします。
- ⑦ 状態に『RUNNING』が表示されればサーバーの起動は完了です。
- ⑧ Web ブラウザを終了します。

WebCube Application Server の場合

WebCube Application Server 管理コンソールの起動

- ① Web ブラウザを起動し、アドレスに「<http://geneias:28080/mngsvr/>」と入力します。
- ② WebCube Management Server のユーザ名とパスワード入力画面が表示されます。ユーザ名とパスワードを入力し、『OK』ボタンをクリックします。
〈ユーザ名〉 : WebCube Management Server の管理者のユーザ名
〈パスワード〉 : WebCube Management Server の管理者のパスワード
- ③ 管理コンソールが起動されます。『論理サーバーの起動/停止』をクリックします。
- ④ サーバビューから『<運用管理ドメイン名※>』をクリックします。
※ 運用管理ドメインのデフォルト名は DefaultDomain です。
- ⑤ 『一括起動』をクリックし、『実行』ボタンをクリックします。
- ⑥ 運用管理ポータル画面から『論理サーバのアプリケーション管理』を選択します。
- ⑦ J2EE サーバ『アプリケーション』を選択します。
- ⑧ タブの『ディレクトリインポート』をクリックします。アプリケーションディレクトリにデプロイするモジュールのディレクトリパスを入力し、『実行』ボタンをクリックします。実行結果が『成功』になった

ら、タブの『開始/停止』をクリックします。

- ⑨ J2EE アプリケーションの開始/停止画面にインポート J2EE アプリケーション一覧が表示されます。開始するアプリケーションの『開始』をクリックします。
- ⑩ 確認画面で『はい』ボタンをクリックします。なお、開始までに時間がかかる場合があります。実行結果が『成功』が表示されたら『戻る』をクリックしてください。
- ⑪ Web ブラウザを終了します。

Generalist 人財管理ソリューション V06 帳票管理ファイル 削除手順

平成 28 年 4 月 28 日 初版発行
平成 29 年 7 月 31 日 第2版発行

発 行 **東芝デジタルソリューションズ株式会社**

〒212-8585
川崎市幸区堀川町72番地34

(C)2017 Toshiba Digital Solutions Corporation
無断複製及び転載を禁ず